

## 【がん薬物療法専門医コース】

授業科目名	臨床腫瘍学演習Ⅱ(消化器)	授業形式	演習	
配当年次	1-4年次	選択・必修	選択	
単位数	2単位 30時間	曜日・時限	通年 月曜 16:00-18:00	
担当責任者	南 博信			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食道癌の病期分類と標準的治療を理解し、食道癌の臨床的特性を学習する。</li> <li>2. 胃癌の進展様式と病期分類を理解し、標準的治療法について学習する。</li> <li>3. 大腸癌の病期分類と標準的治療法を修得する。</li> <li>4. 肝・胆・膵の悪性腫瘍の診断と標準的治療について修得する。</li> </ol>			
授業の概要		演習内容	担当者	場所
	5時間	食道がん	清田	腫瘍・血液内科医局
	10時間	胃癌	清田	腫瘍・血液内科医局
	10時間	大腸癌	清田	腫瘍・血液内科医局
	5時間	肝・胆・膵の悪性腫瘍の薬物療法	清田	腫瘍・血液内科医局
	<p>実際に担当した患者情報を用いて、臨床診断、治療法の決定方法、治療法の具体的経過観察、治療効果について学習する。疾患ごとの授業課程は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションと講義 <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 疾患についての講義</li> <li>(イ) 自主学習の目標設定</li> <li>(ウ) 患者の割り当て</li> </ol> </li> <li>2. 自主学習 <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 実際の患者の診療に携わる</li> <li>(イ) 診断・治療・臨床経過のまとめ</li> <li>(ウ) 考察 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者の臨床的特徴</li> <li>2. 疾患の臨床的特長</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3. プレゼンテーション: 学生と教官とで討議</li> <li>4. 病歴要約をレポートとして提出する。</li> </ol> <p>受け持ち患者の種類や人数は学生と教官との合意により決定する</p>			
関連科目	共通特論Ⅱ:臨床腫瘍学総論			
成績評価	病歴要約レポートとプレゼンテーションの内容で評価する。			
備考	(メールアドレス) 清田尚臣(腫瘍内科学分野 助教) nkiyota@med.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー) 腫瘍・血液内科医局 水曜日 16:00~17:00			